



Plan Do Check Action

「子供一人一人が主語となる授業」を目指して

朝日町保小中一貫教育校
朝日町立あさひ野小学校
校長 米田 歩

本校のある日の授業風景です。子供たちは、教室と教室前のワークスペースのテーブルに広がって、学習者用端末やホワイトボードで課題に取り組んでいます。何人かでホワイトボードを囲み、それぞれの考えを説明し合う姿も見られます。先生は、タブレットを片手に一人一人の子供の学習状況を把握しながら、問いかけたり、友達の考えを紹介したりしています。「どんな方法がいいかな」と一生懸命に考える姿、「もう一回考えてみよう」と粘り強く取り組む姿、「友達の考えも聞いてみよう」と試行錯誤する姿、どの子供の瞳も生き生きと輝き、授業に主体的に取り組んでいるように感じます。



また、このような授業を展開する中で、互いを認め合い、尊重し合う学級の温かい雰囲気が醸成されていることにも気付きました。このことから、子供が自分の学習スタイルを選択し、自分なりの道筋で課題解決に取り組む、いわゆる複線型の授業への取組が、一定の成果が得られていると考えます。

朝日町の中学校と小学校が足並みをそろえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、子供一人一人が主語となる授業づくりを目指しています。「誰のための学びか」という根本を見失わず、自分自身の学びに責任をもち、自ら考え、表現し、行動できる子供の姿を思い描いています。

このような「深い学び」の姿を目指すには、教師が単元で育成したい資質・能力を明確にして授業を構成していくことが大切だと考えます。単元のねらいを子供たちと共有することで、子供たちは適切な問いをもち、道筋をそれることなく自分で考え続け、根拠をもって判断し、友達や先生と協働しながら試行錯誤を繰り返すことができます。また、単元の終わりに、どのような学びを得てほしいのか、目指す子供の姿を具体的に想定することが大切です。単元で目指す子供の姿を明確にすることで、教師はそれに向かって適切に手立てをすることができ、一人一人の学習状況を把握した上での機を捉えた問いかけやフィードバック、振り返りの工夫等を通じて、子供たちの思考が深まります。また、協働的に学ぶ場面を意図的に仕組むことで、子供たちは必要感のある交流や情報交換に終わらない深い対話をすることができます。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるには、従来の一斉授業を行っていたとき以上に教師の授業力の向上が求められると考えます。

そして、端末の有効活用が授業改善の支えとなります。つい数年前までは、ノートを一斉に回し読みしてそれぞれがまとめた考えを共有していました。端末を活用することによって一覧になった友達の考えを必要なタイミングで参照することができます。いろいろな授業展開の可能性が広がります。朝日町の教員がみんなでスクラムを組んで、わくわくする気持ちで子供一人一人が主語となる授業づくりを目指していきましょう。

Learning is fun! 子供とともに

今年度、朝日町に着任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

「朝日町に着任して」 さみさと小学校 教諭 鵜野 彩央里

この春、氷見市の学校から異動してきました。環境の変化に戸惑うこともありましたが、元気な子供たちと優しい先生方に支えられ、少しずつ学校生活に慣れてきました。担任をしている2年生の子供たちは、朝日町のことをよく知らない私に、好きなお店やいつも遊びに行く場所等をよく教えてくれます。朝日町で過ごす毎日は、新しい発見や驚きでいっぱい、子供たち以上に生活科のまちたんけんの学習を楽しみにしています。

先日、ふるさと科の学習で、地域の方をお招きし、野菜の苗植えの仕方を教わりました。上手な植え方を見せてもらったり、野菜の育て方を質問したりする子供たちの生き生きと活動する姿を見て、地域の方たちによって子供たちの成長が支えられていることを感じました。今後も地域の方と協力しながら「もっと知りたい!」「やってみたい!」とワクワクする魅力的な授業を目指し、精一杯努力していきます。



「朝日町に着任して」 あさひ野小学校 教諭 平澤 颯汰

あさひ野小学校に着任してから、数か月が経ちました。これまでは北海道で教員として勤務してきました。あさひ野小の子供たちは素直で人懐っこく、日々の生活や学習の中で明るく前向きに取り組む姿に心を打たれています。また、地域や家庭と学校とのつながりがとても深く、温かい人間関係の中で子供たちが育っていることを実感しています。



私は、授業や行事を通して一人一人の子供と丁寧に向き合い、その子の持つ可能性を引き出すことを目指しています。これまでの経験を活かしながら、新たな学びにも真摯に向き合い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努めることで、子供たちの確かな成長を支えていきたいと考えています。

子供たちと共に学び合い、成長を喜び合える教員を目指し、これからも努力を重ねてまいります。

一人一人が主語となる授業づくり 研修会

朝日町では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、子供一人一人が主語となる授業づくりに取り組んでいます。今年度は、小中学校3校の教員全員で授業を参観し、子供の姿や教師の支援を基に授業づくりについて考える研修を進めています。

6月23日(月) あさひ野小学校での研修会より



一人一人が調べたことやワークシート等はクラウド上で共有し、いつでも互いに見ることができるようにしていました。

4年生の社会科の授業を参観しました。ごみの種類や処理、有効利用等について、自分の課題を設定し、解決に向けての追究活動を行っていました。



春日井市教育委員会の水谷年孝先生にご講演をしていただきました。多くの県や市町の実践や取組を紹介していただきました。また、今後の授業づくりにおいて大切な視点を教えていただくことができ、大変貴重な機会となりました。

【アンケートから（一部抜粋）】

- ・①情報収集②教科書の読み取り③ディスカッション（友達などへの説明）を教員で共通理解して、指導していきたいと思いました。授業づくりの視点が広がり、今後の子供たちの学びが変わっていくのが楽しみです。「自ら学ぶ」子供の姿を期待して、教材研究や授業改善等をしていきたいです。
- ・授業において、教師の動きやアドバイスが学習を進める際にとても重要であると思いました。今後子供たちが「生涯にわたって学び続けられること」を大きな目標として、一人一人の学びを大事にしていきたいと思っています。
- ・複線型授業に取り組んでいます。自身が実践していることと異なる点や裏付けとなるお話が多くあり、大きな自信になりました。現在の取組に今回の研修会で得た知見を取り入れ、どんどんアップデートしていきたいと思っています。

令和7年度

魚津地区教育センター協議会
朝日町教育センター

主催の講演会・講座

研修会名	期日	会場	内容
学級経営に関する講演会	7月29日(火) 14:00～	入善町 うるおい館	演題：子どもの事実から人権を視点に『学校づくり』を問い直しませんか。 講師：大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子 先生
生徒指導に関する講演会	8月7日(木) 14:00～	入善町 うるおい館	演題：不登校支援—不登校の子どもから学ぶ大人にできることは— 講師：東京家政大学 教授 杉山 雅宏 先生
朝日町 小中学校 教育講演会	8月18日(月) 14:00～	朝日町役場	演題：デジタル学習基盤を生かした「子供一人一人が主語」の授業づくり 講師：東京学芸大学 教授 高橋 純 先生
理科教育講座 (自然観察 入門コース)	9月24日(水) 13:30～	黒部市 村椿小	内容：自然観察に関する研修を行い、理科の指導力向上を図る 講師：富山県総合教育センター 主任研究主事、研究主事

令和7年度 現地学習会

○日 時 令和7年8月6日(水) 8時15分～11時35分

○行き先・行程

- ①舟川地区 ②まいぶんKAN、不動堂遺跡 ③バタバタ茶伝承館
(耕地整理) (縄文時代) (郷土の伝統)

センター出発	→	舟川地区	→	まいぶんKAN	→	不動堂遺跡
8:15		8:25-9:10		9:20-9:50		9:55-10:15
→		バタバタ茶伝承館	→	センター到着		
		10:30-11:10		11:35		



☆ お知らせ ☆

朝日町教育センター・朝日町教育支援センター「あすなろ」は、8月中旬に移転します。

9月1日より、朝日町役場2階にて新たにスタートします。

発行：朝日町教育センター

〒939-0743

富山県下新川郡朝日町道下 1053-1

(9月1日以降は 道下1133)

TEL/FAX (0765) 83-0279

E-mail asahi-ec@tym.ed.jp

asahi-ec@asahischool.jp

<https://center.asahischool.jp/>